

桜むすび sakura musubi

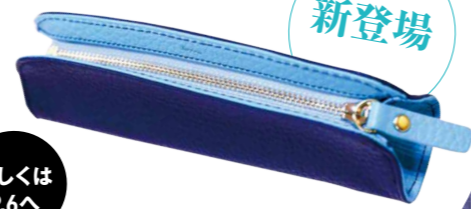
皆さまからの応援が未来への推進力。これからも、よろしくお願いたします。

125th Anniversary for Future

Pick up!

125周年記念募金 限定返礼品

新登場



詳しくは P.6へ

Afternoon Tea LIVING 様と協働制作したペンケースが登場

【特集】創立125周年を迎えて

| | | | |
|-----------------------|----|------------------|----|
| 記念対談 | 01 | お知らせします 学園の今 | 09 |
| 新たなチャレンジ | 03 | 「高大連携」を進めています | 11 |
| 特別イベントを実施 | 05 | 『源氏物語』明石の君の装束を再現 | 12 |
| 創立125周年記念募金 限定返礼品のご案内 | 06 | 【桜むすびのひろば】 | 13 |
| 学園創立125周年記念サイトをオープン | 06 | イベントスケジュール | 14 |
| 卒業生訪問 | 07 | 【ご案内】実践女子学園さくら募金 | 巻末 |

学校法人 実践女子学園

ご案内

実践女子学園さくら募金

「実践女子学園さくら募金」は、学園の学生や生徒が良い思い出をつくり、充実した学習や活動ができる環境を整えるため、恒常的に受付を行っている募金制度です。さくら募金は使途をお選びいただけます。

寄付金使途

- | | | |
|--|--|---------------------------------------|
| 1 創立125周年記念募金 ●学生、生徒の成長に寄与する各種改革事業 | 2 学生・生徒への奨学金 ●経済支援型奨学金 ●報奨型奨学金 | 3 教育支援 ●授業、研究の充実 ●教室、施設整備など |
| 4 課外活動支援 ●部活、サークルの備品購入 ●グラウンドの整備など | 5 下田歌子先生顕彰事業 ●学祖教育 ●墓所管理など | 6 その他 ●学園に一任 |

ご支援いただいた学生・生徒の声(一部抜粋)

- オリジナルのユニフォームを制作しました。ユニフォームを見た時、本当にうれしく、支援していただいた方への感謝の気持ちが一層強くなりました。(高校ダンス部2年生一同)
- 成績優秀者として給付奨学金を受けました。今までのがんばりが評価されたことへのうれしさと同時に、奨学金受給者として「寄付してくださった方に恩返しをしたい!」という気持ちが芽生え、受給後は今まで以上に積極的に授業へ取り組むようになっています。(大学・国文学科2年)

学生の声全文はこちら



毎年6月頃更新

【お申込み方法】以下、2つの方法をご用意しています

- ①【簡単】スマートフォン・パソコンからネットでお申込み
2~3分で簡単にお申込みいただけます。
クレジットカード、Pay-easy(インターネットバンキング・ATM)によりご寄付いただけます。
「毎月1回」「年1回」など、一度のお手続きで継続的にご寄付いただくことも可能です。

お申込みはこちら



- ②同封の払込用紙にて、郵便局でお申込み
同封の「払込取扱票」に必要事項をご記入の上、郵便局でお手続きください。

お礼の品

ご寄付をくださった方に感謝の気持ちを込めて、本学にゆかりのある品を贈呈しております。ご寄付額に合わせ、以下より一品、お選びいただけます。お申し込み時に、4桁の商品番号をご記入ください。

| | | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------|---------------------|------------------------|---------------------------|------------------------------|
| 1万円以上 | | | 5万円以上 | | |
| | | | | | |
| 20-11 さくら甘酒セット | 20-01 焼き菓子プチギフト | 20-02 学園オリジナルグッズ | 20-03 八ヶ岳カステラ | 20-04 日本酒 女城主特別純米酒 | 20-05 さくらスコーン・ 野菜マドレーヌ |
| 5万円以上 | | | 10万円以上 | | |
| | | | | | |
| 20-06 実践オリジナル エコバッグ(ポーチ付) | 20-12 服部醸造 実践オリジナルセット | 20-07 親子丼セット5人分 | 20-08 日本酒 女城主大吟醸 | 20-09 ほろほろ鳥の 水炊きセット | 20-10 日本酒 女城主純米大吟醸+大吟醸 |
| 5万円以上 | | | 30万円以上 | | |

服部醸造株式会社

卒業生の服部由美子さん(文学部国文学科/1977年卒)が経営する北海道・八雲町にあるおよそ100年続くお店です。原料にこだわり、歳月とともに培ってきた伝統の技術を生かした発酵食品の製造を一筋に手がけられています。

- ・酒類のお申込みについて 番号 20-04, 20-08, 20-10 については、20歳以上の方のみお申し込みが可能です。
- ・税制上の優遇措置について 実践女子学園へのご寄付には税制上の優遇措置が適用されます。詳細は本学 Web サイト「実践女子学園さくら募金」をご覧ください。
- ・個人情報の取り扱いについて ご提供いただいた個人情報は、寄付の受付、寄付金受領書の発行および募金管理業務(寄付台帳作成、行事のご案内等)、お礼の品の発送以外に利用せず、適正に保管いたします。
- ・遺贈によるご寄付について 本学では三井住友信託銀行と提携し、遺贈による寄付のご相談を受け付けております。遺贈により、御自身の築かれた財産の一部または全部を相続人以外の人や団体に遺すことを「遺贈」といいます。実践女子学園の発展のためのご支援として、本制度についてご理解・ご検討をお願い申し上げます。

実践女子学園「桜むすび」ならびに実践桜会からのお知らせの送付先変更は、実践桜会 HP 上でも手続きができます。https://www.j-sakura-s.org/henkou.html

総合広報誌「桜むすび」14号 発行・2024年4月 発行人・編集人・木島 葉子 発行所・実践女子学園「桜むすび」編集部

〒191-8510 東京都日野市大坂上 4-1-1 電話 042-585-8804 (経営企画部) FAX 042-585-8808 E-mail sakuramusubi@jissen.ac.jp https://www.jissen.ac.jp/

編集協力:(株)トリッド



特集

創立125周年を迎えて

卒業生の皆さまはもちろん、学生・生徒と保護者、教職員、地域住民や企業関係者など、多くの方に支えられて、実践女子学園は2024年5月に創立125周年を迎えます。この節目の年に行われる多彩な取り組みと、学園が見つめる「これから」をご紹介します。



実践女子大学 実践女子大学短期大学部 学長 難波 雅紀

多くの方に支持される学園の確立に向けて

木島学園では、「受験生が絶対に入りたくない」「学生・生徒と教職員が所属していることを誇りに感じる」「卒業生が出身校であることを自慢できる」学校となることで学園の価値を向上し続けたいと考えています。この実現に向けて、大学と中学校高等学校をどのようにリードされているのでしょうか。

難波「グローバル」や「社会連携」をはじめとする本学ならではの特徴をさらに伸ばし、学生たちの活動を積極的に発信していくことで、「魅力ある教育を行う大学」として周知を図っていきたくと考えています。

湯浅 生徒たちが生きるこれからの未来で求められるものは何かを見据え、学力はもちろん、周囲の人と連携して物事に取り組む力や、「あの人と一緒に行動したい」と周囲に感じさせる個性を育む教育機関であることを目指しています。

難波 学園での取り組みとして、大学と中学校高等学校との連携（高大連携）もありますよね。中学校

実践女子大学 実践女子大学短期大学部 実践女子学園 中学校高等学校

理事長 & 学長 & 校長

記念対談

社会でさらなる存在感を発揮し、「つながり」に誇りを抱ける学園として飛躍を目指す。

125周年という記念すべきこの年、抱く想いは。また、さらなる飛躍を実現するために、中学校高等学校と大学、そして学園をどのように成長させていくか。それぞれのトップが語り合います。



記念すべき年を迎えて

木島 学園創立125周年を「成長への飛躍台」として、創立者下田歌子の挑戦心と開拓精神を受け継ぎながら、学園をより魅力ある教育機関へと発展させていきたいと思っています。

難波 新学部新学科を創設するなど、実践女子大学は次のステージを迎えます。全学部全学科においてもさまざまな試みを実施していきます。2024年は本学の新たな姿をご覧いただきたいです。ぜひ、多くの方にご注目いただきたく思います。

湯浅 生徒たちのさらなる成長と活躍をバックアップするとともにその成果を積極的に発信し、卒業生をはじめステークホルダーの皆さまとより密なコミュニケーションを図りたいと考えております。

皆さまとの連携を深めながら、改革を積極的に進める

木島 2024年には、学園とステークホルダーの皆さまとのネットワークの拡大・深化を目指す4つのイベントの開催を予定しています（P5参照）。

難波 こうしたイベントを通じて、各テーマに関する学園の取り組みを社会に発信し、理解浸透を図ることは非常に意義があると感じます。

湯浅 生徒たちにも積極的に参加し、新たな経験や挑戦をしてもらいたいですね。

木島 また学園では、次の時代に向けて新たな挑戦が始まっています。代表的なものが、大学と中学校高等学校で進められている「5つの改革」です（P3-4参照）。

難波 大学では、創立者下田歌子の精神を現代に



実践女子学園 中学校高等学校 校長 湯浅 茂雄

高等学校の探究教育に大学教員が参画する、といった事例も生まれています。

湯浅 大学の授業の聴講が高校の単位として認められるなど、この数年で高大連携の取り組みは飛躍的に進んでいますよね。

木島 大学と中学校高等学校が連携し、それぞれの持ち味を発揮しながら学園ならではの学びと経験を学生・生徒に提供する。それが学園の価値向上とさらなる発展に導くカギの1つですね。私も学園卒業生の一人。未来を切り開く人材を育成する教育機関として社会で存在感を発揮して輝く、これからの学園の創造に貢献していきたいです。

難波 国際性あふれる渋谷キャンパス、地域に根差した日野キャンパスという二つのキャンパスで、本学としての魅力を発信していくことが私の使命。実践力が身につく実践女子大学として、卒業生の皆さまが誇れる大学にしていきたいと思っています。

湯浅 創立者の精神は変えずに変えるべきは果敢に変えていく、それが125年の伝統を持つ本校が目指すべき姿。今後もさらなる向上を目指していくことを皆さまにお伝えしたいです。

新理事長 就任のご挨拶 学園のさらなる発展に向けて



実践女子学園 理事長 木島 葉子

育を時代に先駆けて創造していくことが重要だと考えます。現在、学園では、「社会連携」や「グローバル」を意識した新しい教育プログラムに力を注いでおり、今後、さらなる充実を図ってまいります。これからも多くの学生・生徒が学び、そして社会に貢献できる人材を輩出する魅力的な学園であり続けるために、学園の発展に力を尽くしてまいります。

実践女子学園は、近代女子教育の先駆者である下田歌子の「女性が社会を変える、世界を変える」という建学の精神のもと、1899（明治32）年に創立されました。中学から大学院までの一貫した教育組織を持つ女子教育機関として発展し、これまでに17万人の卒業生を送り出してきました。近年、社会環境は目まぐるしく変化しています。創立者の志を受け継ぐとともに、環境変化に即した教



実践女子学園 理事長 木島 葉子

置き換えて見つめ直し、「グローバル」と「社会連携」という教育の2本柱を打ち立てました。新学部新学科はこれを具現化するものとして位置付け、カリキュラム改革やクォーター制の導入により既存の学部学科でも2本の柱に基づいた教育を効果的に推進できる仕組みづくりを行っています。

湯浅 中学校高等学校では改革を通じて、グローバル化がさらに進む今後の社会において不可欠な多様性やサステナビリティへの理解や、主体性、リーダーシップなどを育むとともに、のびのびと自らの個性を発揮しながら高い基礎学力が身につく環境を用意していきたいと考えています。

木島 「5つの改革」によって、学びや経験をこれまで以上に学生・生徒が主体的に選び、知識やスキルを体得していく流れが確立すると感じます。学園経営においてはガバナンスなどの改革を進め、大学と中学校高等学校の改革をしっかりとバックアップしていきたいです。

略歴 1963年3月、東京都生まれ。1986年3月実践女子大学家政学部を卒業後、アフラック生命保険株式会社に入社。契約管理企画部長、コンタクトセンター統括部長等を歴任し、2012年執行役員に。日本法人化のプロジェクトリーダーとなった2017年に常務執行役員、2018年取締役上席常務執行役員を経て、2020年から2022年まで取締役専務執行役員。2020年6月から2023年3月まで実践女子学園学外理事を務める。2023年4月に学校法人実践女子学園常務理事、2024年4月に学校法人実践女子学園理事長に就任。

3 クォーター制導入開始

大学

キャンパス内外の行き来が柔軟に行える環境を実現し、主体的な行動力を育む。

2024年4月よりクォーター制を導入します(2学期(セメスター)・4学期(クォーター)を併用)。セメスターとクォーターを組み合わせることで、従来通り前期・後期で行う授業(全14回)のほか、新たに1~4期で行う授業(全7回)を設けます。

また、全学部学科において、クォーター単位の「プロジェクト・ターム」を新設します。これは主にキャンパス外での学びに利用することを想定した期間で、具体的な内容として、インターンシップや海外留学、社会連携活動などの全学主導型プログラム、そして企業や他大学との共同研究や集中講義、資格取得のための学修など学科主導型プログラムを用意しています。

クォーター制導入の目的は、大学で学ぶ高度な専門知識を社会の中で有効に使いこなす力を学生の中に育むことです。キャンパスの



実践女子大学 実践女子大学短期大学部 学長補佐 猪熊 作巳

内と外とを柔軟に行き来し、大学での学びと日々の生活とを自身で関連づけつつ、明確な目的を持って主体的に行動できるよう、さまざまな機会を学生に提供したいと考えています。

5 学力向上プロジェクト

中高



実践女子学園中学校高等学校 高等学校 教頭 城 礼子

学習時間の増加と戦略的学習指導で学力をさらに高め、生徒たちの選択肢を広げる。

本プロジェクトは、「データの分析と共有」「学習時間の増加」「理系強化・英語基礎展開数見直し」「国公立受験推進」の4カテゴリーで構成されています。特に力を入れているのが「学習時間の増加」で、中学生専用の自習室を新設したり、高校生が実践女子大学図書館を利用できるようにしたほか、2024年4月からは放課後自習室(JJサポート)の利用対象を全校生徒に広がります。「データの分析と共有」は、生徒の弱点を把握しその解消により着実に学力を高めていくもので、教員と教育企業担当者で模試や学力調査の結果を分析し、その結果を各教科担任や学年担任と共有して効果的な指導を行ってまいります。

一方、本校の魅力である「生徒たちの個性を大切にしているのびのびと成長していくことのできる環境」を重視し続けることは変わりません。そのうえで本プロジェクトをはじめ時代の変化に対応するための改革を積極的に展開し、将来の選択肢を広げて自分らしく花咲こうとする生徒たちを全力で応援してまいります。

4 ユネスコスクールの本格運用

中高

「未来デザイン」との相乗効果で、持続可能な社会のつくり手を育む教育を。

ユネスコスクールとは、「対話と相互理解に基づいた平和を目指す」ユネスコの理念を学校教育の現場で実践するための国際的なネットワークです。本校も加盟校として本格的に活動をスタートさせることになり、2023年には希望者20名からなるユネスコ委員会を立ち上げて「実践環境ウィーク」を実施。イベント運営を通じ、相手の考えを受け入れ寄り添う姿勢などを生徒たちが身につけており、加盟の成果を感じています。(米倉)

ユネスコスクールでは、自らも国際社会の一員であるという意識のもと、持続可能なライフスタイル、異文化理解などのテーマに取り組むことが求められます。この活動と、本校のオリジナル探究授業「未来デザイン」を掛け合わせることで、持続可能な社会のつくり手を育むESD*教育をさらに推し進めることが可能になると考えました。生徒たちには、ユネスコ委員会に象徴される本校の多彩な活動に積極的に取り組んで、自身の器を大きく広げてほしいと願っています。(渡辺)

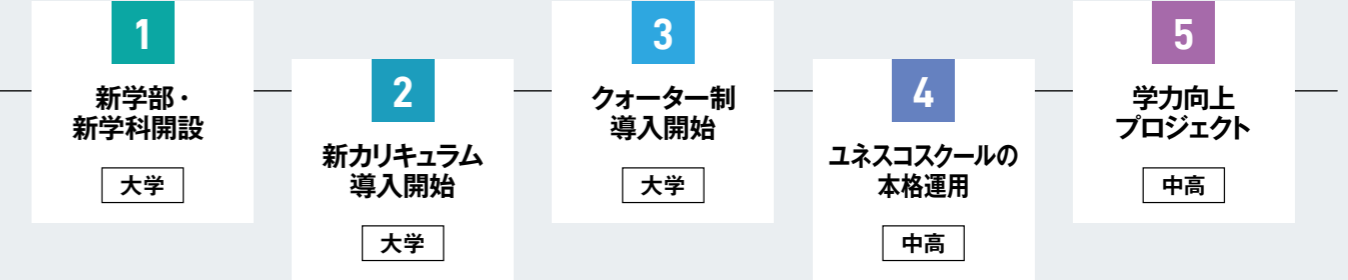
*Education for Sustainable Development、持続可能な開発のための教育



実践女子学園中学校高等学校 ESD推進部 部長 渡辺 大輔(左) / ESD推進部 副部長 米倉 晋一(右)

学園創立125周年(2024年度)に向けた 新たなチャレンジ

本学園が創立125周年を迎える2024年に向けて展開する、「5つの改革」についてご紹介します。125周年を機に新たな一歩を踏み出し、学生・生徒の成長と未来に寄り添う教育を、一層推進してまいります。



2 新カリキュラム導入開始

大学



実践女子大学 実践女子大学短期大学部 副学長 榎 究

本学での学びで身につけた知識と力を、社会での活躍につなげるために。

新カリキュラムでは、「思考の基礎となる基礎学力の向上」と「主体的な学修の充実」を図ります。前者では、広範な分野の教養に加えてAI教育やSDGs教育、ファシリテーター教育を行い、さらに各科目の社会的な位置づけを明確にすることで、論理的な思考力と社会を読み解く力、多様な意見をまとめ相互理解に導く力を育みます。後者については、専門科目の見直しやPBL*科目履修の後押し、各科目で何を身につけられるのかを明確にすることで、学びが社会にどのように関わるか学生が理解し、自ら問いを発して他者と協働しながら課題を解決する姿勢を育てていきます。

カリキュラムの具体的な内容構築については各学科が担い、PBL科目やアクティブラーニングも含めた多様な学びを用意します。その中から自らの将来につながるものを選び、振り返りを重ねながら着実に知識とスキルを体得し、思い描いた未来を手にしてそこで存分に輝く。そんな幸福な人生を、すべての学生に送ってもらうことを願っています。

*Project Based Learning、課題解決型学習

1 新学部・新学科開設

大学

本学ならではの「グローバル」と「社会連携」をカタチに。

本学は2024年4月に国際学部国際学科を創設し、人間社会学部に社会デザイン学科を設けます。国際学部国際学科は、英語力を徹底的に高めながら「言語・コミュニケーション」「国際文化」「日本文化」「地域・観光」の4領域を学び、グローバル人材として求められる多様な見方や考え方を身につける学部です。特色の1つが、2年次後期に3カ月以上の海外留学を必修としていること。帰国後は国内外のインターンシップに参加し、身につけた英語力を社会連携活動の現場で活用して磨きます。社会デザイン学科では、「共創デザイン」「ソーシャル・デザイン」「メディアイノベーション」の3系統を組み合わせることで、データを用いて課題を読み解く力やデザイン思考を身につけます。

2025年には環境デザイン学部環境デザイン学科(仮称)の設置を構想しており、日野キャンパスにおいても新たな展開を検討しています。これからも本学は、伝統を守りながらも、時代の動きを見つめて機敏に変わっていきます。



実践女子大学 実践女子大学短期大学部 学長 難波 雅紀

創立125周年記念募金 限定返礼品のご案内

Afternoon Tea
LIVING

人気ブランド Afternoon Tea LIVING と協働制作したペンケースを進呈

学園では現在、「創立125周年記念募金」を実施しています。2024年度に進められる「5つの改革」をはじめさまざまな改革事業に充当し、学園・学生・生徒が未来に向かって成長し続けるための資金とさせていただきます。

2万円以上ご寄付くださった方には、人気ライフスタイルブランドAfternoon Tea LIVING様との協働で制作した「ペンケース」を進呈。なお、5万円以上をご寄付くださった方には、金額に応じた「さくら募金」の返礼品(裏表紙参照)と本ペンケースをセットで進呈いたします(例:10万円ご寄付いただいた場合…ペンケース+「さくら募金」返礼品(日本酒 女城主大吟醸など))。ペンケースには、125周年記念サイトのイメージカラーともなっている青から、学園のスクールカラーである紫へと変化する上品なグラデーションからヒントを得たカラーをサイドに施し、内側には「Afternoon Tea」と「Jissen」のロゴがあしらわれています。眼鏡ケースや化粧ポーチとしてもご活用いただける、便利なアイテムです。

数に限りがございますので、ぜひこの機会に「創立125周年記念募金」へのご寄付をご検討ください。



数量
限定
先着順!

商品番号
01-25
125周年記念募金
限定返礼品

卒業生の皆さまからのご支援を、
心よりお待ちしております

お申し込みは

下のQRコードからお申し込みいただくか、
同封の払込取扱票をご利用のうえ、郵便
局の窓口にてお手続きください。

こちらから!



学園創立125周年記念サイトをオープン

2024年5月に学園創立125周年を迎えることを記念し、「学園創立125周年記念サイト」を公開しました。学園の「これまで」と「これから」の情報をいっばいに詰め込んでいます。ぜひご覧ください。



本サイトでは、創立125周年を迎える本学園の歩みを振り返るとともに、2024年に向けて展開する改革についての教員インタビューなどを掲載しています。また、卒業生をはじめステークホルダーの皆さまとのつながりを強めるシンポジウムやイベントなどの特別事業についてのお知らせも随時行っています。

アクセスは
こちらから!



<https://www.jissen.ac.jp/125th/index.html>

学園創立125周年記念

特別イベントを実施

創立125周年をともに祝い、実践女子学園をより身近に感じて親しんでいただくために、学園では2024年に、4つの記念イベントを開催します。皆さまのご参加をお待ちしています。

1

JISSEN Global Way ～実践社会で育てるこれからの グローバル化～

グローバル人材の育成に向けた実践女子学園の取り組みや、世界を舞台に活躍するために今後何が求められるのかを見つめるシンポジウムを開催します。

ジャーナリストの池上彰氏が基調講演・パネルディスカッションに登壇予定です。

2024年6月2日(日)12:30～16:30
渋谷キャンパス

- ▶〈第1部〉12:30～
基調講演・学園の取り組みの
ご報告・パネルディスカッション
- ▶〈第2部〉15:00～
グローバルプログラムについてのブース出展



2

探究学習サポート 特別授業

高校生を対象に、探究学習の教材開発を行う株式会社トモノカイの協力のもと、実践女子大学にて探究学習を入試で活用するためのワークショップを行います。

本イベントは、実践女子学園高等学校以外の高校に通学する生徒の方もご参加いただけます。

高校3年生対象/
2024年5月6日(月・振休)
日野キャンパス

- *8月にも同イベントを予定しています。(内容、対象学年未定)
- *イベントの詳細・参加方法については、学園創立125周年記念サイトにてお知らせいたします。



3

JISSENマルシェ

本学、日野キャンパスにて地域連携型のイベントを開催予定です!企業と連携したブース出展や子どもたちが参加できるコンテンツ、スポーツイベントなども実施予定となっています。物販コーナーや飲食ブースも設ける予定です。ふるってご参加ください。

2024年9月8日(日) 日野キャンパス

4

特別ホームカミングデー

2024年度のホームカミングデーは、創立125周年を記念して、例年以上に充実した内容で開催。創立者下田歌子をテーマにした講演、下田歌子とゆかりの深い新潟県に関連するプログラムなどをご用意しています。ビュッフェスタイルでのお食事のほか、プレゼント抽選会も。

2024年11月30日(土)11:00～15:00
渋谷キャンパス



※ 詳細は決まり次第、左の学園創立125周年記念サイトにて順次公開いたします。

欲張りでもいい。挑戦心を大切に、人を巻き込みながら歩み続けて欲しい

極東証券株式会社 人事部次長
井上 絵美子さん



1997年3月 大学・文学部国文学科卒業

人 社から約27年、一貫して人事畑を歩み、現在は人事部次長として新卒・中途採用や各種研修、労務管理など“人”に関わる幅広い業務を担当しています。小学生の子どもがおり、育児短時間勤務制度を活用中。部署全体の業務の進捗具合を把握しつつ、午前は採用関連の業務、午後は研修の企画、などと時間を振り分けて、一つ一つ丁寧に取り組むことを意識しています。多忙な中でも充実した毎日で、業務効率化の意識やマルチタスクのスキルも伸びたかな、と実感しています。

20代は多様な経験を積み、30代は仕事に邁進、40代は育児や人材育成、と年代ごとにテーマを設け、チャレンジ精神を大切に日々過ごしてきました。振り返って思うのは、欲張りでもいい、ということ。何かを手にした、到達したいと願う自分の気持ちに向き合い、一生懸命取り組み、時には周囲の協力を仰ぎ人を巻き込みながら、歩みを止めずに進むことが充実感のある毎日に繋がるのだと思います。

当社で何人もの実践の卒業生が活躍しています。自分の学生時代、また仕事を通じて、実践の学生は真面目で堅実、信頼できる方が多いと感じています。それを強みとしつつ、積極性や行動力、リーダーシップも伸ばして発揮して、多くの方に社会の各方面で活躍していただきたいですね。

実践で過ごした10年間での経験が、現在の自分につながっている

株式会社真花 代表取締役
紀井 規子さん



1981年3月 高等学校卒業、1985年3月 大学・文学部国文学科卒業

企 業に勤めていましたが55歳の時に一念発起し、能のプロデュースを行う会社を立ち上げました。能は室町時代に観阿弥・世阿弥親子が確立し、約650年にわたって受け継がれてきた伝統芸能。謡や舞の型は当時からほとんど変わらず、演じたり鑑賞していると、洗練された様式美の中に日本古来のスピリットが込められていることが感じられます。奥深いその魅力を日本はもちろん世界中の方々にわかりやすくお伝えして親しんでいただき、この芸能を守って次の時代に引き継ぐことを目指し、日々の仕事に取り組んでいます。

父親が謡の稽古をしていたことから幼少期より能は身近な存在。本格的に取り組むようになったのは実践女子大学で能楽研究会に所属し、能楽師の今井泰行先生に師事したことがきっかけです。その面白さに夢中になり、卒業後も稽古を続けました。中学校も実践で学び、高校では生徒会副会長を務めましたが、生徒会長を支えながら会を運営するなど、プロデュースの楽しさを実感したことも現在につながっていると感じます。

創業から5年、能楽公演の主催は5回を数えます。今後は個人の方を対象にした能楽教室や経営者向けの能楽セミナーなどを積極的に行い、より多くの方に能の魅力を体感していただきたいと考えています。

(株)真花 <https://shin-flower.jp/>

教育を通じて女性の持てる力を高め可能性を広げる。創立者下田歌子の精神が息づく学び舎で過ごし、巣立った卒業生たちは、現在、社会のさまざまなシーンでそれぞれの力を発揮し、活躍しています。

ここでは、そんな卒業生たちに現在や学園への想いについて語っていただきます。

Alumni Visit
卒業生
訪問

留学で日本の魅力を再認識。帰国後、先生方に支えられたことも大切な思い出

リシュモンジャパン株式会社 ヴァン クリーフ&アーベル 勤務
五味 茜音さん



2015年3月 大学・文学部英文学科卒業

外 資系ラグジュアリーブランド勤務を経て、ハイジュエリーブランドに転職。現在はマーチャングラフィックデザイナーとして、イベントごとにどのようなジュエリーやウォッチを展示するか取りまとめ、イベント会場や各店舗に手配して状況を管理する仕事に就いています。作品点数が多く、輸出入が関わることもあってきめ細かな配慮が欠かせませんが、正確に効率よく業務を進め、一緒に仕事をする仲間の役に立つことができたと感じた時に、達成感ややりがいを感じます。

大学での出来事で特に印象に残っているのは、2年次のカナダへの交換留学です。勉強も生活も英語一色で1年を過ごし、英語力を実践的に高めることができました。さまざまな国から集まっている留学生との交流を通じ、日本の魅力を再認識することもありました。全力投球で毎日過ごす留学から帰国し、学生生活をさらに有意義なものにするために試行錯誤していた私を先生方が支えてくださったことも心に残っています。研究室を訪ねて相談し、親身なアドバイスをいただいたことも何度もありました。後輩の皆さんには、在学中に好きなこと・楽しいことをどんどん見つけてほしい。それを追求する環境があり、背中を押してくださる方がたくさんいるのが実践女子大学だと思っています。

卒業生の皆さまへ

学園卒業生を対象に「キャリアセミナー」を実施しています

実践女子大学 実践女子大学短期大学部、実践女子学園中学校高等学校*をご卒業された方を対象に、2023年度は実践桜会キャリアネットとの共催で行いました。キャリア形成についての有識者の方の講演のほか、卒業生同士の交流の場となる懇親会も行っています。2024年度は3月を予定しております。ぜひご参加ください。

*実践女子学園中学校高等学校については、現在社会人の方が対象です。

【お申込み・お問い合わせ先】

実践女子大学 実践女子大学短期大学部 学生総合支援センター
TEL: 03-6450-6821 E-mail: career-og@jissen.ac.jp

大学卒業生による「教職者の会」が発足しました

実践女子大学を卒業し、教員として活躍されている方々が「教職者の会」として集い、2023年8月5日に渋谷キャンパスで第1回目の会合を開きました。今後は発起人を含めた7名が代表者となり、2024年3月に第2回の会合を実施、同年8月初旬に第3回の会合を予定するなど会の企画・運営を進めます。興味のある方は、ぜひ以下にお問い合わせください。



第1回会合の様子。

【お申込み・お問い合わせ先】

実践女子大学 渋谷キャンパス 教職センター TEL: 03-6450-6908

6月13日 大学・短期大学部 体育祭

日野キャンパスで大学・短期大学部合同の体育祭が開催されました。2023年度は、コロナ禍前に行っていた対戦形式の競技が一部復活。ポートボールやストラックアウト、バレーボールなど6種類の競技が行われました。学生たちは、サークルやクラブ、ゼミの仲間、友人同士など思い思いの相手とチームを組み、力を合わせて競技に参加し存分に体を動かして、スポーツを楽しむひとときを過ごしました。各競技で高得点を獲得したチームには豪華な賞品が進呈されました。



6月22日・23日 高等学校 球技大会

2日間にわたって行われた球技大会。競技審判や大会運営も生徒が担当して入念な準備を行い、当日を成功に導きました。競技種目はドッジボール、バレーボール、卓球で、ドッジボールは各クラス20名で1チーム、バレーボールは7名で1チーム、卓球はダブルス形式で試合が展開されました。昨年度までは応援は各教室で行われていましたが、今年度は体育館でのクラス応援が復活し、全力でゲームに打ち込む仲間に熱い声援を送りました。



2023年度名誉称号贈呈式を実施 大短高中

今年度は5名の方に賛助員の名誉称号を贈呈

2023年10月7日、渋谷キャンパスにて名誉称号贈呈式を実施しました。高額寄付者に対する名誉称号贈呈に関する規定に基づき、今年度は5名の方に賛助員の名誉称号を贈呈。贈呈式は渋谷キャンパス常磐祭と同日に行われました。

2023年度名誉称号対象者：安達勉氏、海野政司氏、串崎扶美子氏、鈴掛まゆみ氏、宮崎直文氏



お知らせします
学園の今

実践女子学園のニュースや功績、学生・生徒の活動をご紹介します。

大学 短大 高校 中学校

<https://www.jissen.ac.jp/> (大学・短期大学部)
<https://hs.jissen.ac.jp/> (中学校高等学校)
からも詳細・新情報をご覧いただけます。

9月16日・17日 中学校高等学校ときわ祭

2023年度のテーマは「カーニバル」。吹奏楽部のファンファーレから開会式がスタートし、華道部桂古流が教室でウェディングパーティを再現、高校美術部がギャラリーでタコの装飾「To rise from」を行うなど、さまざまなクラブや団体が趣向を凝らして発表や展示・販売を行いました。今年度はようやくコロナ禍前と同様の内容で実施が行え、たくさんの方にご来場いただきました。



実行委員長より

高校2年 伴 京奈さん / 今年度のときわ祭の目玉の1つに、初めて企業とコラボし企画した商品販売しました。これからも進化し続ける実践女子学園をお楽しみください。



中学校3年 内藤 玲さん / 中学生にとって、久しぶりに制限のない本格的な催し物や発表ができました。来年度も新しい企画を実施したいと考えていますので、期待してください。



10月7日・8日 渋谷キャンパス常磐祭

記念すべき第10回目の開催となる2023年度の渋谷キャンパス常磐祭。「Under the Sea Party」をテーマに、キャンパス全体で海の世界が表現されました。1階の特設ステージでは、生流箏曲部や日本舞踊研究部、ATLASチアリーディング部などが日頃の練習の成果を披露。館内では、文化系をはじめとするさまざまなサークルや団体が展示や販売を行いました。都心に位置するキャンパスらしく多くの来場者が訪れ、華やかな学園祭となりました。



実行委員長より

人間社会学部 人間社会学科 3年 中島 鈴さん / 来場者や大学関係者大変満足していただいた、実りある常磐祭となりました。来年度はさらに活気ある常磐祭をお届けいたします。



創立者下田歌子の命日に墓参 大短高中

護国寺の墓所や学園関連施設の祭壇で先生をしのぶ

10月8日は、実践女子学園の創立者下田歌子の命日です。毎年、東京都文京区の護国寺にある墓前に学園関係者が参拝を行っており、2023年度は山本章正理事長をはじめ、多くの関係者が参拝しました。

墓参後、実践桜会館、中学校高等学校の香雪記念室に移動し、それぞれに設けられた祭壇にお参りするとともに、関連資料に触れ、創立者をしのびました。



芝浦工業大学と連携協定を締結 大短高中

文理融合の教育・研究環境の実現や、理系教育の強化を目指す

実践女子大学と実践女子学園中学校高等学校は、2023年12月11日、渋谷キャンパスにて国内有数の理系教育機関である芝浦工業大学と連携協力についての協定を締結しました。大学間の連携協力では学生や教職員の交流、施設設備の相互利用、国際交流などが重点項目として打ち出され、中学校高等学校と芝浦工業大学間の連携協力では大学教員の中高生に対する探究活動の支援、出前授業の実施などが盛り込まれています。この協定により、大学は文理融合の教育・研究環境の実現、中学校高等学校は理系教育のさらなる強化などを目指します。



11月11日・12日 日野キャンパス常磐祭

コロナ禍以来、4年ぶりに完全対面での開催となった日野キャンパス常磐祭。解放感たっぷりの2日間を学生やご来場の方々など関係者の皆で祝いたい、という気持ちを込めて「Home Party」をテーマに掲げました。野外ステージでは軽音楽部や吹奏楽部、YOSAKOIソーラン部「WING」などがイベントを盛り上げ、本館をはじめとする校舎では生活科学部の各研究室やサークルがそれぞれの活動の集大成となる展示を行いました。地域住民の方など多くの来場者でにぎわう学園祭となりました。



実行委員長より

生活科学部 食生活科学科 健康栄養専攻 3年 折田 琴美さん / 日野キャンパス常磐祭では5月頃から活動を開始し、11月の本祭に向けて委員51名が一丸となって奮闘し、幅広い年代の方々に楽しんでいただくことができました。



10月14日 中学校 運動会

各クラスの代表である運動会実行委員と専門委員を中心に準備が進められる、生徒主体の大きなイベントである運動会。コロナ禍以前の競技数に戻したり予行演習が2回から1回になったりなど変更点が多かったものの、生徒たちがしっかりと準備を進め、当日は滞りなく進行することができました。学年ごとのクラス対抗リレーや中学3年生によるメイポールダンスをはじめ、すべての競技が大変に盛り上がりました。



成長を実感する機会を学生に 大短

67名の学生がエントリーし、9名が最終選考へ

第2回「JISSEN Student's Reflection Award」の最終選考・表彰式を、2023年12月16日に渋谷キャンパスで開催しました。これは、学生のリフレクション*の習慣化と言語化を支援し、自己成長を実感する機会を提供する取り組みとして、大学・短期大学部2年生を対象に始まった奨学金制度です。今回は67名の学生がエントリーし、最終選考会では一次審査を通過した学生9名がプレゼンテーション。人間社会学部現代社会学科の戸川紗希さんが最優秀賞、生活科学部生活文化学科幼児保育専攻の宇津木琴葉さんが審査員特別賞に選ばれました。

*学びや体験を振り返ること。



学生がJALとのコラボ授業に参加 大

グループ社員の立場で「持続的に実現できる」新ビジネスを立案

共通科目「実践キャリアプランニング」(担当:文学部国文学科 深澤晶久教授)で、生活科学部現代生活学科の学生が日本航空株式会社(JAL)とのコラボ授業を実施。学生たちは、田中優子氏(同社産業連携部)の指導のもと、D&I(ダイバーシティ&インクルージョン)を学び、JALグループ社員の立場になって障がいのある社員が活躍できる新たなビジネスを考える課題に取り組みました。グループワークではアイデアを出すばかりでなく、実現できるか、持続可能かも検討。12月には最終プレゼンテーションに臨みました。



※学生・生徒の学年表記は2023年度のものです。

『源氏物語』の世界が現代によみがえる

本学が再現した「明石の君」の装束が話題に



本学は2018年より5年の年月をかけて、『源氏物語』に登場する明石の君の装束を研究し、現代によみがえらせました。世界的にも類のない試みによる貴重な装束は、2023年12月に東京都・丸紅ギャラリーで公開され、多くの来場者に平安の美とロマンを堪能するひとときをお楽しみいただきました。

『源氏物語』研究の国際的な拠点として、平安時代の女房装束を現代によみがえらせる。

創立者下田歌子が『源氏物語』の講義で名を馳せ、貴重な文献や資料を所蔵するなど、実践女子大学は『源氏物語』研究において伝統と豊かな知見を有しています。2018年には私立大学研究ブランディング事業として「源氏物語研究の学際的・国際的拠点の形成」を開始。その一環として、『源氏物語』「若菜 下」に登場する明石の君の装束の再現に取り組みました。

学内の研究者のほか各分野の専門家が参画。物語や絵巻、有職

故実書などを頼りに丹念に研究を重ね、1000年の時を超え、『源氏物語』に描かれた装束を現代によみがえらせました。

完成した装束は染めや織りまで平安時代の技術と世界観の再現にこだわり、他では見られない品々となっています。2023年12月には、絵画や染織品、染織図案などの充実したコレクションを有する「丸紅ギャラリー」でこの装束を展示。本学はこれからも『源氏物語』研究の世界的な拠点として、研究の深化をけん引していきます。



一番上に着用した「柳の細長」から、その下の「萌黄の小桂」、紫根染めの表着、6枚の重桂…と10点の装束を再現しました。



装束を眺め、充実した情報を得て、平安の雰囲気を堪能できる空間が実現。

展示会場では空蟬の状態に整えられた再現装束を中心に据え、衣桁にかけた個別の装束や解説パネルで四方を囲んだ状態に。スマートフォンで利用できる音声ガイドも用意し、文様や色、光の反射など装束の細部まで眺めながら、さまざまな情報を得て平安時代の雰囲気を存分に楽しめる空間が完成しました。

学術的にも芸術的にも意義深い再現装束。展示にも工夫を凝らし、雅な空蟬の形式で。

「明石の君」の再現装束の初公開を本ギャラリーで実現できたことを、とても光栄に感じています。

この取り組みは『源氏物語』研究を国際的にリードする実践女子大学ならではのことで、平安時代の装束がどのようにつくられ、どのように着られ、またそれを着用したうえで人々がどのように生活していたのかを解釈するうえで、私たちに新たな視点を提供してくれます。非常に上品かつ気品のある装束で、芸術性も極めて高いものです。特に、柳の細長の萌黄が白い表地に映り込んだ色調、重桂のグラデーション、表着の織や染、文様の美しさには目を見張るものがあります。

展示にも工夫を凝らし、明石の君が装着してま脱ぎ捨てたかのような空蟬の形でお見せすることとしました。これほど美しく雅に展示された装束は、これまで誰も目にしたことがないのではないのでしょうか。

今後も丸紅ギャラリーは「古今東西の美が共鳴する空間」をコンセプトに、染織品や染織図案、絵画を中心に、今回のような新たな試みも積極的に行いながらさまざまな企画展を開催してまいります。皆さまもどうぞ足をお運びください。



丸紅ギャラリー 館長 杉浦 勉氏

学園ならではの“進化した学び”を提供するために

「高大連携」を進めています

学園では現在、中学校高等学校と大学との連携活動を積極的に展開しています。それぞれの環境や教職員、カリキュラムなど教育資源を最大限に有効活用し、学生・生徒の交流を後押しして、中学校に大学を擁する実践女子学園ならではの“進化した学び”を提供していきます。

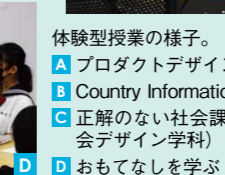
#01 中高大連携イベント

中高大連携によるオープンキャンパス型イベント「新しい学びを知ろう！編～新学部新学科＆社会と繋がる学び～」を2023年8月5日、大学・渋谷キャンパスで開催。中学校高等学校の生徒と保護者を対象に、大学教員による体験型授業や総合ガイダンス、キャンパスツアーが行われました。実践女子大学について生徒が理解を深め、進路の選択肢を増やすことを目的とするこの催し。生徒たちにたくさんの刺激を与え、自身の“これから”を考えるきっかけとなっています。



体験型授業の様子。

- A プロダクトデザインってなんだろう？(生活科学部生活環境学科)
- B Country Information Exchange(国際学部国際学科)
- C 正解のない社会課題に取り組む！人中心の社会デザイン(人間社会学部社会デザイン学科)
- D おもてなしを学ぶ！JAL連携授業(社会連携)



#02 高大連携FD・SD

学園では、教職員が授業内容や組織運営手法を改善し向上させるためのFD・SD(Faculty Development, Staff Development)を積極的に行っています。大学・中学校高等学校の教職員が参加する高大連携FD・SDも実施。2023年度は6月29日に行い、約135名の教職員が参加して授業や組織運営についての知識・スキルの向上を図りました。



#03 スポGOMI in 実践女子大学

「スポGOMI」とは、いくつかのチームが集って制限時間内にゴミを拾い、その質と量でポイントを競い合うスポーツです。学園では2015～2019年に中学校高等学校にて実施しており、2022年度からは大学が主体となって運営。中学校高等学校の生徒も参加しています。2023年度の開催では高校チームが13.33kgのゴミを拾い、1位を獲得しました。



#04 渋谷のJJラジオ

渋谷区のコミュニティラジオ「渋谷のラジオ」の中で毎月1回55分間生放送されている、大学公認ラジオ番組「渋谷のJJラジオ」。人間社会学部人間社会学科駒谷ゼミに所属する学生たちが制作を行っています。この番組に中学校高等学校の生徒も参画。大学生と一緒に、内容の企画や番組出演などを務めています。



#05 大相撲・両国国技館でのボランティア活動

実践女子大学は2017年12月に日本相撲協会と包括的連携協定を締結。これを受け、例年初場所(1月)、5月場所、9月場所で学生が両国国技館で販売ボランティアを行っています。2023年度より高等学校の生徒も参加し、大学生と協力しながら売り場をサポートしています。



#06 ときわ祭での交流

中学校高等学校の文化祭「ときわ祭」に、大学のマンドリンクラブと日本舞踊研究部に所属する学生が参加。日頃の練習や稽古の成果を、ステージで披露しました。



2024,4-2025,3

EVENT SCHEDULE

卒業生の皆さま、在学生・在校生、地域の方々と本学園とをつなぐ多彩な催しを、今年も企画しています。教養を深める機会として、未来を切り拓くチャンスとして、楽しい日々を振り返るひとときとして、ぜひお越しください。

実践女子大学香雪記念資料館 2024年度企画展 年間スケジュール


| 会期 | タイトル |
|-----------------------------|--------------------------------------|
| 2024年 4月 1日(月)～ 5月10日(金) | 第23回 学祖・下田歌子展 —下田歌子と清国留学生資料 |
| 2024年 5月23日(木)～ 6月21日(金) | 佐藤春夫展 |
| 2024年 7月 1日(月)～ 8月 3日(土) | 戦後の女性画家たち展(仮) |
| 2024年 9月 9日(月)～ 9月29日(日) | 源氏物語と和歌 |
| 2024年10月 5日(土)～11月23日(土) | 幻影の日本・憧憬の西洋 —清原/ラグーザ玉とヘレン・ハイドを中心に |
| 2024年12月9日(月)～2025年1月31日(金) | 中国美術史入門展(仮) |

香雪記念資料館

【場所】創立120周年記念館
(渋谷キャンパス)1F

【入館料】無料

【HP】<https://www.jissen.ac.jp/kosetsu/>



※展覧会名、会期は変更になる場合がございます。また、展覧会によって休館日が異なります。詳細につきましては、ホームページ等でご確認ください。

実践女子大学生涯学習センター

▶生涯学習講座

日野・渋谷での対面講座、その他オンデマンド講座もあります。スキルアップを目指す方には、自宅で受講可能な資格取得講座もおおすすめです。優待割引や卒業生価格もご用意しておりますのでお問い合わせください。一緒に学びませんか？

▶リカレント教育講座

- 実践キャリアアッププログラム
マネジメントリテラシー修得コース
組織のリーダーに必要な5分野について修得するコースです。
- 栄養士ブラッシュアップコース
管理栄養士を目指す方、最新情報を習得したい方、ぜひご受講ください。

詳しくは、実践女子大学生涯学習センターへ。下のQRコードからホームページにアクセスできます。



2024年度 ときわ祭・常磐祭のお知らせ

高 中
第72回 ときわ祭
9月28日(土)～29日(日)

大 短
第11回 渋谷キャンパス常磐祭
10月5日(土)～6日(日)

大 短
第68回 日野キャンパス常磐祭
11月9日(土)～10日(日)

学園創立125周年記念特別イベント

創立125周年という記念の年を皆で祝い、今後を見つめるイベントを開催します。ぜひご参加ください。

- シンポジウム「JISSEN Global Way～実践社会で育てるこれからのグローバル化～」
2024年6月2日(日)12:30～16:30 渋谷キャンパス
- 探究学習サポート特別授業
高校3年生対象/2024年5月6日(月・振休) 日野キャンパス
- 地域連携型イベント「JISSENマルシェ」
2024年9月8日(日) 日野キャンパス
- 特別ホームカミングデー
2024年11月30日(土)11:00～15:00 渋谷キャンパス

詳しくは
P.5へ

LINE公式アカウントにご登録ください

学園では、実践女子学園卒業生のための情報発信ツールとして、LINE公式アカウント「桜むすびonline」を開設しております。卒業生の皆さまに、学園の「今」や卒業後のキャリアサポート、人生を豊かにするのに役立つ情報をお届けします。125周年記念イベントでは、卒業生限定のお得な情報も配信予定です。

まだご登録されていない方は、ぜひこの機会に、右のQRコードからLINEの「友だち追加」をお願いいたします。

友だち追加は
コチラから！



「実践女子大学アプリ」が誕生しました

学園卒業生・在校生・入学予定者ためのアプリが誕生しました。学園の「今」のほか、キャリア支援や生涯学習講座など、卒業生の皆さまにとって有益な情報をご案内しています。中学校高等学校卒業生の方もご活用いただけます。

【お問い合わせ先】
実践女子大学 実践女子大学短期大学部
学生総合支援センター キャリアサポート部 TEL:03-6450-6821



各学科のブログや、証明発行の情報などを掲載しておりますので、ぜひダウンロードのうえご利用ください。

みんなでつなぐ、みんなでつくる 桜むすびのひろば

各地の「実践桜会支部」を訪問しています

学園は卒業生の皆さまとの連携をさらに深めるため、同窓会組織である一般社団法人教育文化振興実践桜会と情報交換の場を毎月設けるとともに、学園理事や職員が全国各地の支部を訪問しています。

2023年度は学園理事が6月11日に千葉県支部、6月25日に茨城支部、10月18日に関西支部、11月12日に愛知支部・岐阜支部、11月23日に中国・四国地方支部を訪問。学園・各校の近況をご報告し、卒業生の皆さまと交流を行いました。



茨城支部の皆さまと湯浅茂雄中学校高等学校校長(6月25日)



千葉県支部の皆さまと山本章正理事長(6月11日)

※役職表記は、2023年度のもので。



関西支部の皆さまと木島葉子常務理事(10月18日)

ホームカミングデーを開催しました

2023年10月8日、渋谷キャンパスとZoom(オンライン型ビデオ通話サービス)でホームカミングデーを開催しました。20代～70代と幅広い世代の卒業生約150名が参加。今回は特に20代・30代の方が多く見られました。

会場は9階のカフェテリア。大学・短期大学部や中学校高等学校の「今」について難波雅紀学長・湯浅茂雄校長よりご報告の後、プレゼント大抽選会が行われました。ご参加の方々には、軽食とともに懐かしい先生や仲間と語らう和やかな時間をお楽しみいただきました。



懐かしい友人や恩師との歓談でにぎわう会場の様子。



J-STAFF(在学生スタッフ)が先輩方をおもてなし。

受験生のご息女・ご令孫・ご令妹がいらっしゃる卒業生の皆さまへ

「卒業生・在学生子女推薦」をご利用ください

実践女子大学では、卒業生および在学生の子・孫・姉妹を対象とした入学者選抜「卒業生・在学生子女推薦」を行っております。卒業生

の皆さまのご息女・ご令孫・ご令妹で、本学にご興味をお持ちいただける受験生の方がいらっしゃいましたら、本制度のご利用もご検討いただけますと幸いです。詳細は、本学Webサイトに掲載しております。

個別相談も行っておりますので、ぜひお問い合わせください。

お問い合わせ先 実践女子大学 入学サポート部
TEL.042-585-8820

わたしの今

卒業生の皆さまの近況をお伝えするコーナーです。皆さまもぜひお便りをお寄せください。

定年退職後に師範免許を取得し書道教室をオープン

内藤 恵子(旧姓:高橋)さん
家政学部 食物学科 1976年卒

中学校教諭を36年間務め、定年退職後に書道師範の免許を取得。69歳になった現在は書道教室を開いて子どもたちに習字を教えています。人生、これからです。

ラン科の栽培に熱中し、たくさんの花を咲かせる日々

坂口 陽子(旧姓:池田)さん
家政学部 食物学科

現在、園芸愛好家として特にラン科の植物栽培に熱中。4年続けてコチョウランを咲かせ、3年前からは温室を使わずにシンビジウムやパフィオペディルムを開花させることができました。

就職率の高さが評価され、卒業生として誇らしい

池永 弥生(旧姓:吉田)さん
家政学部 食物学科 1980年卒

「実就職ランキング2022」で全国女子大学2位を獲得されたとのこと、おめでとうございます。数字で判断されると、成果を実感できてうれしいですね。卒業生として自分も誇らしく感じました。

短大がなくなるのは寂しいけれど、新学部学科に期待

匿名さん

短期大学部の学生募集が停止されるのはとても残念ですが、学園で深く考えられた末の決断なのだと思っております。新しく設置される国際学部国際学科に、とても興味を感じています。

投稿随時募集中!

近況やご趣味、同窓会のお誘いなど、お気軽にご投稿ください。投稿は綴じ込みの返信用ハガキ(卒業生のみ)、または下記宛にハガキやメール、FAXでお願いいたします。

- ハガキ 学校法人実践女子学園 経営企画部内「桜むすび」編集部 行
- メール sakuramusubi@jissen.ac.jp
- FAX 042-585-8808

※できるだけ多くの方のお便りを掲載させていただきますが、企画内容により掲載できない場合、また掲載が先送りされる場合もございます。あらかじめご了承ください。

※営利目的の内容については掲載できませんのでご了承ください。お寄せいただいた個人情報は、学校法人実践女子学園および一般社団法人教育文化振興実践桜会が管理し、本広報誌ならびにお知らせの発送以外の目的には使用いたしません。